



2022年6月29日

各 位

会 社 名 ユー・エム・シー・エレクトロニクス株式会社
代表者名 代表取締役社長 大年 浩太
(コード:6615 東証プライム市場)
問合せ先 管理本部 経理部 部長 一 萬田 祐司
(TEL. 048-724-0001)

(訂正・数値データ訂正)

「2022年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」の一部訂正について

2022年5月16日に公表いたしました「2022年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」の記載内容につきまして、修正すべき事項がありましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 訂正の理由

連結キャッシュ・フロー計算書における短期借入金の純増減額の表示について、為替の影響が含まれている状態であったことが判明したため、関連する箇所の訂正を行うものです。

2. 訂正の内容

訂正箇所につきましては下線を付しております。

<サマリー情報>

1. 2022年3月期の連結業績(2021年4月1日~2022年3月31日)

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

【訂正前】

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2022年3月期	<u>△4,570</u>	△2,088	7,155	7,933
2021年3月期	2,592	△1,951	4,528	9,170

【訂正後】

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2022年3月期	<u>△3,510</u>	△2,088	6,095	7,933
2021年3月期	2,592	△1,951	4,528	9,170

<添付資料 3ページ>

1. 経営成績等の概況

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

【訂正前】

当連結会計年度における連結ベースの現金及び現金同等物につきましては、79億33百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは45億70百万円の支出（前連結会計年度は25億92百万円の収入）となりました。これは主に、売上債権の減少があった一方で、仕入債務の減少、棚卸資産の増加があったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは20億88百万円の支出（前連結会計年度は19億51百万円の支出）となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出があったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、71億55百万円の収入（前連結会計年度は45億28百万円の収入）となりました。これは主に、長期借入金の増加、短期借入金の増加があったことによるものであります。

【訂正後】

当連結会計年度における連結ベースの現金及び現金同等物につきましては、79億33百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは35億10百万円の支出（前連結会計年度は25億92百万円の収入）となりました。これは主に、売上債権の減少があった一方で、仕入債務の減少、棚卸資産の増加があったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは20億88百万円の支出（前連結会計年度は19億51百万円の支出）となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出があったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、60億95百万円の収入（前連結会計年度は45億28百万円の収入）となりました。これは主に、長期借入金の増加、短期借入金の増加があったことによるものであります。

<添付資料 10 ページ>

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

【訂正前】

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)	当連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	307	2,025
減価償却費	2,931	2,800
減損損失	377	74
新株予約権戻入益	△90	—
のれん償却額	35	35
賞与引当金の増減額 (△は減少)	131	△71
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△70	△82
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	—	2
製品保証引当金の増減額 (△は減少)	145	△587
受取利息及び受取配当金	△13	△22
支払利息	590	310
為替差損益 (△は益)	49	79
投資有価証券売却損益 (△は益)	3	—
固定資産売却損益 (△は益)	△0	△33
固定資産除却損	104	26
売上債権の増減額 (△は増加)	△1,651	4,991
棚卸資産の増減額 (△は増加)	797	△5,552
仕入債務の増減額 (△は減少)	287	△7,169
未収入金の増減額 (△は増加)	△544	△124
未払金の増減額 (△は減少)	△72	1,885
その他	255	△2,468
小計	3,572	△3,877
利息及び配当金の受取額	97	4
利息の支払額	△667	△294
法人税等の支払額	△411	△403
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,592	△4,570
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△1,700	△2,438
無形固定資産の取得による支出	△157	△8
有形固定資産の売却による収入	48	289
投資有価証券の売却による収入	16	12
差入保証金の差入による支出	△79	—
その他	△78	56
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,951	△2,088
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△2,774	5,369
長期借入れによる収入	1,707	7,000
長期借入金の返済による支出	△5,447	△4,859
リース債務の返済による支出	△455	△354
株式の発行による収入	11,500	—
その他	△0	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	4,528	7,155
現金及び現金同等物に係る換算差額	△220	△1,733
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	4,949	△1,237
現金及び現金同等物の期首残高	4,220	9,170
現金及び現金同等物の期末残高	9,170	7,933

【訂正後】

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)	当連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	307	2,025
減価償却費	2,931	2,800
減損損失	377	74
新株予約権戻入益	△90	—
のれん償却額	35	35
賞与引当金の増減額 (△は減少)	131	△71
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△70	△82
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	1	2
製品保証引当金の増減額 (△は減少)	145	△587
受取利息及び受取配当金	△13	△22
支払利息	590	310
為替差損益 (△は益)	49	1,139
投資有価証券売却損益 (△は益)	3	—
固定資産売却損益 (△は益)	△0	△33
固定資産除却損	104	26
売上債権の増減額 (△は増加)	△1,651	4,991
棚卸資産の増減額 (△は増加)	797	△5,552
仕入債務の増減額 (△は減少)	287	△7,169
未収入金の増減額 (△は増加)	△544	△124
未払金の増減額 (△は減少)	△72	1,885
その他	253	△2,468
小計	3,572	△2,817
利息及び配当金の受取額	97	4
利息の支払額	△667	△294
法人税等の支払額	△411	△403
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,592	△3,510
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△1,700	△2,438
無形固定資産の取得による支出	△157	△8
有形固定資産の売却による収入	48	289
投資有価証券の売却による収入	16	12
差入保証金の差入による支出	△79	—
その他	△78	56
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,951	△2,088
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△2,774	4,309
長期借入れによる収入	1,707	7,000
長期借入金の返済による支出	△5,447	△4,859
リース債務の返済による支出	△455	△354
株式の発行による収入	11,500	—
その他	△0	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	4,528	6,095
現金及び現金同等物に係る換算差額	△220	△1,733
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	4,949	△1,237
現金及び現金同等物の期首残高	4,220	9,170
現金及び現金同等物の期末残高	9,170	7,933

以上